

第17回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

会議資料・議事録

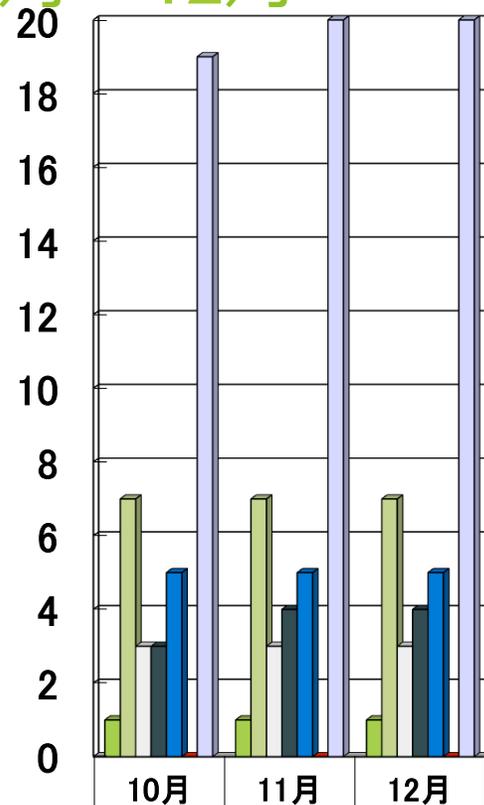
平成27年12月6日

第17回運営推進会議

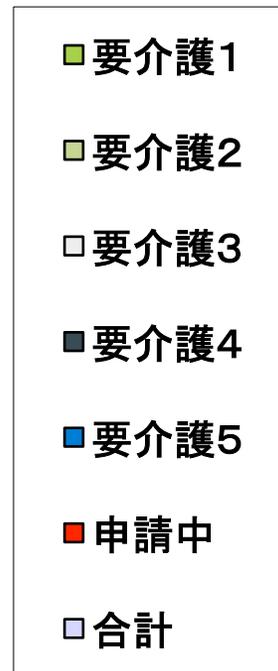
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者紹介
- 活動報告
- 外部評価（事業所評価報告）
- その他質疑応答・要望等

登録利用者数

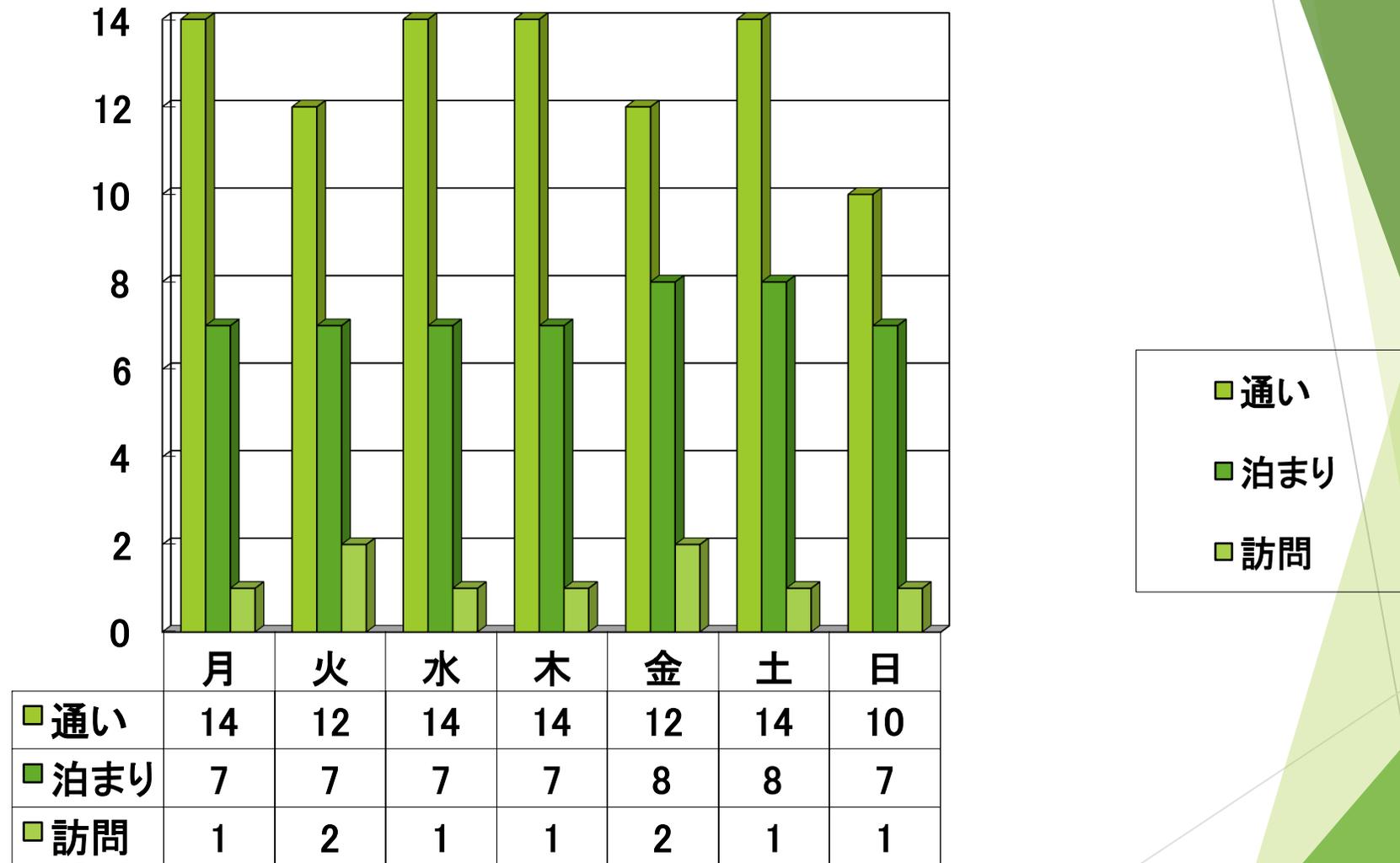
平成27年10月～12月



| | | | |
|------|----|----|----|
| 要介護1 | 1 | 1 | 1 |
| 要介護2 | 7 | 7 | 7 |
| 要介護3 | 3 | 3 | 3 |
| 要介護4 | 3 | 4 | 4 |
| 要介護5 | 5 | 5 | 5 |
| 申請中 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 19 | 20 | 20 |



平成27年11月 曜日別利用者数



～活動報告～

10月

ぶどう狩り

温泉外出

芋掘り

紅葉狩り

外部評価

看護小規模多機能型居宅介護事業所は、運営推進会議をおおむね2月に1回以上開催することとされているがサービスの改善および質の向上を目的として、自ら提供するサービスについて評価・点検（自己評価）を行うとともに、自己評価結果について、運営推進会議等において第三者の観点からサービスの評価（外部評価）を1年に1回以上行う。

サービスの質の評価の客観性を高め、サービスに質の改善を図ることを目的とし、結果の公表を行うことが義務付けられおり、利用者に対するサービスの提供にあたり、職員に対し、十分意識付けを図ることが求められている。

外部評価

スタッフ個別評価



事業所自己評価



外部評価



評価の公表

- これまでの取り組みやかかわりを自らに向き合い、振り返ります。個人作業

- 各自が取り組んだ「スタッフ個別評価」を持ち寄り、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、項目に関する捉え方の違いなどを話し合い、その中から改善の方策を考えます。事業所のコミュニケーションの場ともなります。

- 運営推進会議で話し合います。
「できている」「できていない」という結果のみで判断するだけでなく、事業所が真摯に自らの取り組みを振り返り、質の向上を図っているか確認します。
地域が日頃感じていることと事業者自身が考えることとの違いについて話しあい、事業所の課題や今後の方向を見出します。

外部評価のポイント

- ◆スタッフ全員が自らを振り返り、自己評価を行うこと（スタッフ個別評価）
- ◆スタッフ個別評価とともに、事業所全体で振り返り、話し合い、共有すること（事業所自己評価）
- ◆運営推進会議で、事業所自己評価の結果を報告し、かつ、地域からの意見を頂き、運営に反映させること
- ◆自己評価及び運営推進会議による評価を毎年繰り返しながら、質の向上を図っていくこと
 - ⇒ 評価をスタッフ全員で行い話し合うことでチーム作りになり、提供しているサービスの確認になる
 - ⇒ 地域の方々より事業所に対する理解が促進される
 - ⇒ 外部評価を行う運営推進会議に行政や地域包括支援センターが参加することで、理解が促進される

今後の予定

12月

- ・ 家族交流会
- ・ クリスマス会
- ・ 年末大掃除
- ・ 避難訓練

1月

- ・ 初詣

▶ 第17回運営推進会議 議事録

- ▶ 開催日時：平成27年12月6日(水) 11:00~11:45
- ▶ 出席者：斎藤先生, 看護小規模管理者・小林, 総務・物江, 地域包括センター・小石様
- ▶ 民生委員・大嶋様
- ▶ ご利用者・11名
- ▶ ご利用者ご家族・8名
- ▶ 職員・太田, 岩村, 竹内, 青山, 高倉, 佐藤, 桑野, 松原
- ▶
- ▶ 開会あいさつ
- ▶
- ▶ 出席者紹介
- ▶
- ▶ 現況報告
 - ▶ ・11/4より1名利用開始、現在登録20名
 - ▶ ・通い12~14名, 泊り7~8名, 訪問1~2名、日々増減あるがほぼ満員
- ▶
- ▶ 新規ご利用者紹介
 - ▶ ・S・H様
- ▶
- ▶ 活動報告
 - ▶ ・行事, 日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告する。
- ▶
- ▶ 外部評価
 - ▶ ・サービス評価の説明, 経過報告, 事業所評価のコメントのお願い
- ▶
- ▶ 今後の予定
- ▶
- ▶ 職員紹介
- ▶